

議会だより

NO. 32

令和元年8月1日発行

氷川町議会

清流

ひかり



農業農村整備事業予算確保を要望

農林水産省の牧元農村振興局長を訪ね、国の当初予算確保を要望した。



7月16日 立神熊野座神社 水難防止祈願祭



© 2009 town HIKAWA

ひかりん

「ひかりん」は熊本県氷川町のPRキャラクターです。

6月定例会

臨時議会概要

p2

6月定例会本会議の概要

p3

臨時議会概要・委員会報告

p4

一般質問(4名)

p5~8

委員長研修報告

p9~10

政府要望概要

岩手県金ヶ崎町議会視察受入れ

p11

スポット

p12

臨時議会

平成31年4月22日

平成31年第3回町議会臨時会が4月22日開催された。31年度氷川町一般会計補正予算（第1号）を慎重に審議した結果、全員賛成で可決した。また、専決処分（専決第1号）の報告を受け承認を行った。

専決処分及び承認内容

氷川町税条例の一部を改正する条例
内容

- 住宅に対する税制上の支援策で、住宅ローン控除の控除期間を3年延長。
- 軽自動車税では、グリーン化特例とエコカー減税の軽減割合を見直す。
- ふるさと納税は、制度の趣旨をゆがめているような団体については、特例控除の対象外とすることができるよう見直しを行う。
- 子供の貧困に対応するため、

前年の合計所得が135万円以下であるひとり親に対して、個人住民税を非課税とするもの。
●熊本地震による被災住宅用地に係る課税標準の特例措置の適用期間を2年間延長する。

以上の税条例の改正内容は、平成31年4月1日から施行する必要があるが、「地方税法等の一部を改正する法律」が3月議会閉会後に国会において成立、改正法律が3月31日に公布されたことに伴い、平成31年3月31日付けで専決処分したものである。

補正予算（第1号）

補正予算は、歳入歳出それぞれ361万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ68億7千732万4千円とする。

補正予算内容

●商工費で、平成31年4月6日に立神峡公園内のキャンプサイト前の圧送ポンプが故障し、里地公園管理棟やキャンプ場炊事場及びトイレの汚水を圧送できなくなったため、急遽マンホール用汚水ポンプ2台の交換が必要となったための費用200万円。

●また、この第5マンホールから管理棟先の展望所横にあるマンホールまでの下水道管につまりが見つかったため、清掃業務を委託するための費用30万円。



立神峡公園内マンホール

●教育費補正予算では、弁護士委託料の131万6千円。氷川町早尾の町指定文化財「大王山古墳第2号」について、近くの寺院が町を提訴したため、その弁護士費用。寺は「古墳の範囲があいまいであり、町指定文化財台帳の記載に不備があることから、そもそも町指定文化財ではない」などとの主張内容。

同古墳は国道3号線東側の大王山古墳群の1基で1969年に旧宮原町が町文化財に指定した。



大王山古墳群

熊本地方裁判所で「指定文化財範囲確認等請求事件」として5月15日に第1回口頭弁論が行われ、6月21日には弁論準備が行われている。

歳入は、全額前年度繰越金361万6千円を財源として充当した。

令和元年6月定例会本会議の概要

一般会計補正予算

5,412万9千円を可決

一般会計

5,412万9千円を補正し
69億3,145万3千円に

主な一般会計補正予算の事業内容

ペルー熊本県人会創立100周年記念式典出席3名旅費	240万円
次年度から任用職員の制度移行に向けた支援業務委託	220万円
改正健康増進法に伴う喫煙ブース4施設の設置	252万円
氷川町移住者への支援金支給（1世帯分）	100万円
認知症高齢者グループホーム開設補助	3,920万円
幼児教育無償化に伴う子ども子育て支援システム改修	188万円
果樹強化棚・イチゴ自動換気施設整備事業補助	229万円
農業用ハウス強靱化緊急対策事業補助	99万円
消費税率引上げプレミアム商品券システム導入業務委託	117万円

6月定例会は、10日から14日までの会議期間で開催した。まず、議案「工事請負契約の締結について」は、先行して議決を行ったが、採決の結果、賛成1反対10の賛成少数で否決をした。竜北中学校の空調設備等設置工事の請負契約は、地方自治法及び町条例の規定（予定

価格5千万円以上の工事契約）により、議会の議決が必要である。この工事契約は、予定価格に対する落札率が97%と氷川中（90%）に比べて高いことから疑問の声が上がっており、（ほぼ同じ内容の）氷川中の工事を90%でできる業者がいる。経費削減のため、もっと努力してもらいたい」との

反対討論があり採決の結果、否決となった。なお賛成討論はなかった。報告は、有限会社氷川町まちづくり振興会の経営報告についてと平成30年度の一般会計繰越明許費について

条例改正の議案では、「報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」これは、国会議員の選挙時の執行経費基準法の改正に伴い、投票立会人等の町報酬条例を改正するもの。次の介護保険条例の一部を改正する条例議案については、政令改正に伴い、低所得者にかかる第1号保険者の減額賦課規定の改正。災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例は、法律及び施行令の一部改正に伴って、町条例の一部を改正するもの。

予算では、令和元年度一般会計補正予算（第2号）【下段概要説明】と令和元年度介護保険特別会計（第1号）（介護保険制度改正対応の委託費用の52万円）が提案された。また、熊本県市町村総合事務組合共同処理規約の一部変更（合志市が組合共同事務から脱退する）も提案された。議案「物品売買契約の締結について」は、地方自治法及び町条例の規定（予定価格700万円以上の物品購入）により、議会の議決が必要であるが、軽減税率が伴う消費税率の引き上げにより氷川竜北物産館のポスシステムの改修が必要となったため、公募型プロポーザル方式により、999万円で福岡県の業者がシステム一式を随意契約。これを議決するもの。

議案は、各常任委員会審議を経て、工事請負契約を除き全員賛成で議案を可決した。諮問では、人権擁護委員候補者に氷川町吉本の川田博文氏と氷川町野津の西村博子氏の推薦に同意した。一般質問は、2日目に町政全般について4人が登壇し氷川町発展のため議論が交わされた。

臨時議会

令和元年7月9日

令和元年第5回町議会臨時会が7月9日開催された。

提案された議案は、令和元年度一般会計補正予算（第3号）と3本の工事請負契約の締結について。

慎重に審議した結果、全員賛成で可決した。

補正予算（第3号）は、歳入歳出それぞれ44万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ69億3千189万3千円とする補正予算。

補正予算の内容は、農林水産業費の竜北物産館白蟻駆除業務委託料44万円。竜北物産館の事務所と研修室、天井裏にイエシロアリが認められたため、被害拡大を防ぎ、また駆除の工法が高温な時期が最も効果的ということから臨時

議会の提案となった。

議員からは、施設が経年すると常なる点検が必要との要望意見があった。

歳入は、全額竜北物産館運営基金繰入金を財源として充当した。

次に、工事請負契約の締



イエシロアリの被害の様子

結の3本については、まず6月定例議会で否決されたため再度入札が実施された竜北中学校空調設備等設置工事、及び宮原小学校空調設備等設置工事、竜北東小学校空調設備等設置工事の請負契約の締結についてを審議。結果、全員賛成で可決した。（竜北西部小学校の空調設備等設置工事は契約額5千万円未満のため議会提案は不要）

それぞれ予定価格に対する落札率は、竜北中学校91・5% 宮原小学校93・6% 竜北東小学校92・8%であった。【入札情報は、熊本県庁ホームページ（入札情報公開サービス）で閲覧可能】

令和元年度

町村議会常任委員長・議会運営委員長研修

講演 「チーム議会のすすめ」
講師 早稲田大学

マニフェスト研究所事務局長
熊本市政策参与 中村 健氏

熊本県町村議会議長会主催、県下の町村委員長173名が出席した。

今回の研修では、いま地方議会の現場では、議会がまさにチーム議会となって住民や執行部を巻き込みながら新たな取り組みが進められているという内容で、「時代の変化を知る」「災害時の議会の役割」・「常任委員長・議会運営委員長の役割」など、議会改革のあり方についての貴重な講演であった。今後の氷川町議会活動に反映させていきたい。

出席者：清田総務文教委員長
片山産業建設厚生常任委員長
平山事務局長



日時：令和元年7月8日（月）
場所：グランメッセ熊本
（二階コンベンションホール）



吉川 義雄
議員

Q : 風水害・地震に対応する
防災公園の計画はあるか

A : 防災公園や避難所及び、
周辺道路も今後計画的に整備したい

議員 防災の拠点となる公共施設の耐震性の強化はどうなっているか。今後予想される大規模災害について避難場所の耐震化や津波に備え2階、3階建ての民間のビルなど、避難場所を確保する必要があると提案もしてきた。氷川町は山間部から海岸線まであり、過去に高潮による被害も受けている。大きな地震が起きれば津波の被害も受ける恐れがある。風水害・地震に対応する防災機能を持った公園の整備が必要と考える。野津火葬場跡地に防災公園を建設することになったが、野津地区以外にも必要と考えるが、計画はあるか。

総務課長 公共施設の耐震化の強化は、避難場所になっている小中学校の校舎や体育館は耐震化工事が完了している。役場、文化センター、福祉センターは耐震基準を満たしている。しかし、一部の町営住宅は耐震基準を満たしていないので、入居者に住み替えを促し、空き家等は解体を行っている。

災害、水害、震災時に住民の安全を確保するため、避難場所として野津防災公園（仮称）の整備をすすめている。今後の防災機能を持った公園・広場等の計画では、下宮地区に防災公園、沖

塘地区に高潮にも対応できる避難所、東網道、西網道地区には高潮対策も考えた広域避難所の計画があり、周辺道路も今後整備する必要があると考えている。

議員 熊本地震の後、日奈久断層が危険と報道されている、本町にはこの日奈久断層が通っている。国土地理院の地図を見ると、宮原小学校、常葉保育所、道の駅、竜北公園は日奈久断層の上にある。氷川町総合振興計画地区別計画書には、7／8割の地区で道路が狭い、道路整備の必要性が述べられている。避難路の機能を有する道路整備はどうすすめるのか。

町長 日奈久断層はわが町の直下を通っているのでとても心配している。防災計画等に基づき整備をすすめていく。特に防災公園は急いで造っていかなければという気持ちはあるが、財政の問題もあるので計画的にやっていく。道路については、地区の要望を聞きながら整備している。今後もその方針に変わりない。それぞれの集落内道路、それを結ぶ道路の整備も計画的にすすめていく。

議員 今年度の町民懇談会で参加者から「国保税がまた上がった」と意見があった。私にも「国保税は何で高いのか」と声が寄せられている。国保は他の保

険と比べて税が高くなる仕組みがある。「均等割」「平等割」があり、家族が多い世帯は高くなり、負担が大きいの。全国の自治体の中には、子どもにかかると「均等割」を免除、減免するところが出てきている。新聞報道によると2019年度、全国の25市町村が始めるが、本町も検討してはどうか。

町民課長 子どもに係る均等割減免については、子ども医療費助成費用により無料化していることもあり、減免については現段階では考えていない。

議員 岩手県宮古市長は「子育て世代をしっかりと応援しようと18歳以下の均等割を全額免除することになりました。国保の加入者が子育てをするときに負担が大きいことは明らかだ。子育てしやすい町をつくる」また、「財源はふるさと寄付金で市長にお任せを活用した」と言われている。

町長 ふるさと納税で、私にお任せしていただけの部分もあり、子どもの医療費助成やそういった政策に使わせていただいている。その分を国保の分にどれだけ活用できるのかというのが今後の課題である。実際そうやっておられる自治体があるわけだから、大いに参考にしていきたい。

議員 国保税で子どもにかかる均等割を免除、減免してほしいか



野津防災公園予定地



清田 一敏
議員

Q：スマート農業を推進する考えはないか

A：情報を収集しながら利用を考えたい

Q：一般質問や町政懇談会で出された意見はその後、どう対応しているか

A：執行部、課長会等で検討し可能なものは施策に反映している

議員 施設園芸における環境制御技術等、スマート農業を推進する考えはないか。

農業振興課長 ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化、効率化、高品質生産を実現するスマート農業はこれからさらに進む農業の担い手の高齢化、労働力不足に対応する農業として期待されている。ハウスの環境制御技術については氷川町でも各種事業を使い導入が進んでいる。今後ともスマート農業に関するさまざまな情報を収集しながら利用を考えていきたい。

議員 農水省も2019年度の目玉事業の一つと位置付けており県内でも取り組みが始まっている。一気にはいかないと思うが調査、研究を重ねながら省力化や所得の向上につながるよう、推進をお願いしたい。

議員 農業振興課にも知見を有する任期付き職員等を配置する考えはないか。

農業振興課長 現時点では、知見を有する任期付き職員の配置については検討していない。まずはスマート農業の導入支援や講習等を実施できる個人業者等を活用して普及を進めることができればと考えている。

町長 指導者は必要と思う。職員で担うのか、どうするのかという部分はあるが、幸い近くにはアグリビジネスセンター、いわゆる県の機関があり、能力、

知識を持った職員が配置をされていると聞いているので利活用を図りながら氷川の農業をしっかりと進めていきたい。時期を得て必要があれば専門的な能力を持っている職員の雇用も必要になってくるかと思う。



環境制御技術が進む施設園芸

一般質問や町政懇談会等で出された意見について

議員 その後どのような検討がなされているか。

総務課長 定例議会などの一般質問では、各議員の皆さまより町の行政全般にわたって出された質問に対しては、

町執行部で内容を検討している。その結果については、町の施策に反映して予算化することにより事業の実施を行っている。事業にあたっては、町の広報誌等で皆さんに対して周知を図っている。今後、さらに町のホームページ等での周知も考えていきたい。

地区懇談会については、今年も町内5地区で行い、140名ほどの参加があった。各地区の住民から出された町政に対するご意見等についても担当課で内容を検討して、その結果は区長さんを通して地区の皆さまに町の考えをお返ししている。

町長 それぞれいただいたご意見等については、執行部、課長会等で議論をすることができるはずにやる。できないところは、どこに課題があるのか、そういったところにもお互い研究をする。そして早くやっていくという姿勢で臨んでいる。今日言ったことが明日すぐできれば一番よいが、大きな事業についてはそういうわけにはいかない。しっかりとその辺りは取り組んでいきたい。それぞれの地区からの要望についても当然、区長さんからはあがってくるが、優先順位を付けて、随時やっている。

皆さま方の意見というのは、それぞれ受け止めて、これからも町政に生かしていきたいと思っっているし、これからもその考え方には変わりない。



河口 涼一
議員

Q：高齢者の外出移動支援策はあるのか

A：3年間の実証実験でタクシー利用助成事業を開始した

議員 高齢者自立生活支援策について3点（ア）高齢者前期・後期それぞれの人口と高齢化率はどうなっているか。（イ）高齢者の外出移動支援策はあるか。（ウ）高齢者の緊急連絡についてどのような支援策があるのか。

福祉課長 （ア）は、平成31年4月1日現在で、前期高齢者2,039人、75歳以上の後期高齢者が2,391人で、高齢化率は37.3%である。

（イ）では、今年度から3年間の実証実験で、タクシー利用助成事業を実施する。対象者には500円分の利用券を24枚、1万2千円分配付する。

（ウ）では、緊急通報装置の貸与事業を行っている。急病や災害時に迅速かつ適切な対応を図るもので、対象者は65才以上の一人暮らしで、協力員3人、通信料負担可能で、電話の聞き取りが出来、民生委員の確認が条件となる。通報すると警備会社につながり、救急車の手配などが行われる。また、月に2度ほどお元氣コールで安否確認等も行われる。

議員 高齢化率は37.3%とのことであるが、3人に一人以上が高齢者ということになる。国全体では27.3%であるため、本町は10%以上進んでいることになる。これについての所感をお尋ねしたい。

福祉課長 氷川町、八代市、八代郡医

師会、八代市医師会の4者が連携し、地域包括ケアシステムづくりを県内に先駆けて実施している。これは、高齢者やその家族を地域で支え合うことで、医療、介護、介護予防、住まい自立支援の仕組みづくりである。

議員 外出支援策のタクシー券支給は75歳以上ということだが、75歳以下でも必要なケースもあるのではないか。

福祉課長 障がい者手帳などをお持ちの方には年齢制限はなく、75歳以上のみの世帯、運転免許がなく、どちらも前年度の住民税非課税が前提である。



いきいきサロンでの血圧測定

議員 （ウ）の緊急通報装置の貸与事業であるが、条件がそろった方に利用が可能なということだが、協力員3人とはどのような内容なのか。

福祉課長 生活状況が確認でき、協力可能な人を1人では不在の場合もあるので3人準備してもらおう。緊急搬送があった際には同行してもらおうなどしてもらえる人を選んでいただく。

議員 現在、このサービスの利用者数と稼働実績はどうか。

福祉課長 平成29年度61人、30年度65人、今年度が5月末で62人利用されている。実績は29年度6件、30年度7件である。

議員 一人暮らし高齢者の世帯数は何戸と把握しているか。

福祉課長 平成27年度の国勢調査時点で、65歳以上の単身世帯が489世帯で、全世帯の19.2%である。

議員 一人暮らしの世帯数からすると高い利用率と思う。この町を大変住みやすく、環境的にも自慢できる町だと思っている。ぜひ、安心してこの町で最後の最後まで暮らしていただければと念願する。

町長 「いきいきサロン」などさまざま

な施策を展開し、しっかりと充実させ、取り組んで行く。



いきいきサロンでの体操



上田 俊孝
議員

Q : 町内小中学校の運動会の時間短縮について
どう考えているか

A : 暑さ対策や学習指導要領の改正で運営管理は校長に委ねられているが、必要であれば支援や助言をしたい

小中学校の運動会の現状は。

議員 先般、新聞に運動会の時間短縮が広がるという記事が掲載されていたが、氷川町内小中学校の運動会の現状と短縮についてどんな検討がなされているか。

学校教育課長 いわゆる時短運動会は、運動会の日程をお昼前後までに終了するように初めから計画して行われる運動会と認識している。先日、議員指摘のように新聞に記事が掲載されたことをきっかけにして、話題に上がるようになったと思う。

熊本県内の運動会の時短化のきっかけは、2016年4月の熊本地震により、休校が続いたことにより、練習時間が不足したことで種目が減少したり、競技時間を多く必要とする技巧走やPTA競技などが取りやめとなったりして、結果的に当日の運動会や練習に費やす時間が短くなったものであると認識している。併せて、新学習指導要領の完全移行に向けた外国語学習の授業時数の確保の問題もあり、運動会にかける時間を少なくせざるを得ないという側面もある。

そのような動きの中、本町では、児童や先生方の頑張りで、本年度も例年通り素晴らしい運動会が行われた。ゴールデンウィークの10連休があり、練習時間が限られた中で、様々な工夫をして子供たちを成長させてくださった先生方に教育

委員会としても大変感謝している。各学校は、運動会を行うことで、子供達に体育技能の向上だけでなく、自らの責任を持ち、仲良く協力しながら粘り強くやり遂げる力を身につけさせたいと願って取り組んでいる。

また、保護者や地域住民も運動会で成長した子供の姿を見ることで、喜びを感じているのではないかと思う。学校教育課としても、このように大変意義のある取り組みの一つである運動会については、現段階では、運動会の役割を踏まえ大切にしていきたいと考えている。



運動会入場行進

先生、PTA等の運動会における取組実態は。

議員 運動会において、現在、先生、PTA等はどうに関わっているのか。

学校教育課長 学校では、意義ある運動会にするために、4月当初から実施計画を検討し、職員会議での議論を重ねながら、学校総体として取り組んでいる。具体的には、4月末までに運動会のテーマを決めたり、チーム編成を行ったりしながら、練習スケジュールを決定している。5月連休明けから、本格的に練習を開始する。開会式や行進、応援合戦の練習については、全体練習として7時間程度行う。それとは別に各学年の徒競走や表現運動など十数時間をとって子供たちを高めていく。ただ、時間を効率よく使うためには、以前行われていた予行練習などは無くしたり縮小したりしている状況である。また、準備や後片付けについては、PTAによる協力体制がしっかりとできており、運動会前の除草作業を行ったり、当日の来賓接待や駐車場の整理などにも協力をいただいている状況である。

時短運動会について氷川町においては、どのような考え方があのか。

議員 北海道の札幌市では、60%の小学校で時短運動会に取り組みたいと記事に掲載されていた。氷川町においてはどの

ように考えているか。

教育長 本町の子供達の心と体の成長に大きな役割を果たしている運動会を意義あるものとするともに、最近の暑さ対策や学習指導要領の改正に伴う、授業時間確保等、働き方改革も念頭において、学校行事の運営、管理は、校長に委ねられている。子供達や学校の実態に応じて、責任ある立場の校長の意見を尊重して参りたいと考えている。そのうえで、必要であれば、しっかりと支援を行ったリ、助言をしたいと言うふうに思っている。



運動会応援合戦

総務文教常任委員会審査報告

清田 一敏 委員長

当委員会への付託案件は条例1件、予算1件、その他1件。

当委員会は、6月12日役場大会議室で、関係課長より説明を求めながら審査を行った。

付託案件は採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑については次のとおりである。

議案第32号 令和元年度氷川町一般会計補正予算(第2号)について

吉川議員 総務費、一般管理費、一般備品の計上は何か。

総務課長 健康増進法の一部改正で、役場の敷地内に喫煙することが出来る場所を区画するために喫煙ブースを設置する。他にも宮原振興局、福祉センター、氷川町公民館にも設置をする。

長尾議員 財産管理費、役務費の森林国営保険料の内容は何か。

企画財政課長 早尾、油谷地区の町有林の保険料で、面積8・74ha分である。

吉川議員 振興局費の移住支援金は、一世帯分だけか。

地域振興課長 東京23区に居住している方に対して、熊本県の、就職サイトに登録した会社に就職し

氷川町に移住する方に支援を行うもの。全県で取り組まれ10月から施行されるが、町も要綱を作成する。一年以上の就業及び5年以上の居住等の要件があるので、一世帯分を計上した。

吉川議員 教育費、教育振興費で起業体験推進事業の印刷製本費は冊子の作成と思うが、この事業はテーマごとにされるのか、どういった内容か。

学校教育課長 今年は、西部小学校と竜北中学校が手を挙げてもらっていて、内容はこれからとなる。昨年は、東小学校が実施され



東小起業体験

たが、各学年ごとに実施していた。例えば5年生は、色を付けた白玉団子入りの甘酒を開発して販売した。大変好評で、氷川まつりでも販売した。

河口議員 公民館費の氷川町公民館電話料は必要なのか。

生涯学習課長 現在、施設の借用受け・事務所の開閉等を外部委託により管理を行っているが、利用希望者からの空き状況等の問い合わせや当課とのやり取りにも使っている。

吉川議員 地区集会所施設等建設費はこの分が。

生涯学習課長 桜ヶ丘区と若洲区の地区公民館修繕で、それぞれ交付規則により補助金を交付するものである。

議案第29号 氷川町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について及び

議案第34号 熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更については質疑および意見はなく、採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決した。

産業建設厚生常任委員会審査報告

片山 裕治 委員長

当委員会への付託された案件は、条例2件、予算2件、その他1件。

当委員会は、6月12日、役場2階大会議室で、関係課長より説明を求めながら議案審査を行った。

議案第30号 氷川町介護保険条例の一部を改正する条例について及び、

議案第31号 氷川町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

は、質疑及び意見は無く、採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第32号 令和元年度氷川町一般会計補正予算（第2号）について

西尾議員 高齢者福祉費の介護基金緊急整備特別対策事業補助金3,920万円は今回の補正予算の7割を占めているが、当初予算で計上出来なかったのはなぜか。

福祉課長 公募を昨年11月に行ったが、その結果1件の申し込みが

あった。その後、書類審査・現地確認等により候補者の決定が3月だったため、当初予算に間に合わず今回の補正予算の計上となった。

米村議員 地域密着型施設への入居要件は本町住民となっているが、入居しやすい環境整備を進めるべきではないか。

福祉課長 近隣町村の状況を確認しながら誤解が生じないような例規整備を図っていききたい。



地域密着型施設

西尾議員 商工費の委託料116万7千円で、プレミアム商品券は

住民税非課税世帯と3歳未満の子供が対象となる訳だが、対象者の抽出は進んでいるか。また、商品券の販売時期はいつ頃か。

地域振興課長 今回の補正でコンピュータのシステム改修をした後、対象者の抽出に入る。併せて商品券の引換券や申請書等の各種書類の発行もできるようにする。販売は10月1日から来年3月31日までを計画している。

採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第33号 令和元年度氷川町介護保険特別会計補正予算（第1号）については、質疑及び意見はなく、採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決した。

議案第36号 物品売買契約の締結について

西尾議員 氷川町竜北物産館POSシステム一式を公募型プロポーザル方式で随意契約とした理由は

何か。

農業振興課長 決まった仕様で機器を入札するのではなく、システム、販売管理、店舗管理、出荷者への情報提供等の総合的なシステムの導入のため競争入札には適しないと判断した。

西尾議員 契約金額の999万円はシステム改修だけか。

農業振興課長 軽減税率に対応したPOSレジ、管理のパソコン、ラベル発行機、自動釣銭機などPOSシステム一式である。



現在の道の駅竜北 POS レジ

採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決した。

岩手県金ヶ崎町議会からの

視察受け入れ

6月18日に議員14名と事務局2名が行政視察研修として氷川町に
来町した。岩手県金ヶ崎町の人口
は氷川町より若干多く15,600
人、議員数は15名。研修の主なテ
マは、「まちづくり情報銀行」に

ついてと定住自立圏についてで
あった。

担当職員が、まちづくり情報銀
行の概要、地区づくり委員会の概
要、住民主役のまちづくり補助制
度の概要についての説明を行っ
た。

まちづくり関連では、地区
別計画とこれまで10年間の成
果の事例を詳しく説明した。

また、定住自立圏について
は、八代市、氷川町、芦北町
定住自立圏共生ビジョン概要
や氷川町からの発信提案の内
容、平成28年度からの成果や
進捗状況及び今後の見込みな
どや実施するにあたっての課
題等を説明した。

岩手県金ヶ崎町の議員から
は、「氷川町の取組みについ
て大いに参考となった。今後
の議員活動に反映させてまい
りたい」との謝辞があった。



表紙の びとこと

7月24日午後、町長とともに議員11名は農林水産省への政府要望を行った。大臣室にて吉川貴盛大臣に対し、農業農村整備事業の推進に関する要望書を提出。引き続き、牧元幸司農村振興局長、奥田透農村振興局次長、ほか整備部長、整備部防災課長にも要望書を提出した。要望概要は次の通りである。

湛水防除事業の推進

網道地区にある排水機場は設置後30年以上を経過し機器の老朽化が著しい。また湛水被害も頻繁に発生している。平成27年度から県営竜北地区湛水防除事業を実施しているが、昨年度までに導水路整備が一部完了したものの、残りの整備と併せて排水機場の整備に向けた事業を一刻も早く事業を完了させる必要がある。

引き続き事業に必要な当初予算の確保をお願いしたい。

併せて、不知火干拓の若洲排水機場も、氷川排水機場と同様に設置後30年以上を経過し、施設の老朽化が見られており、排水不良による湛水被害が発生している。同施設も湛水防除事業として事業申請採択に配慮をお願いしたい。

和鹿島海岸堤防の強化

平成28年に発生した熊本地震では、氷川町の農地海岸（和鹿島海岸）においては甚大な被害が発生したが、国の直轄代行により早期復旧を実施していただいた。

しかし、日奈久断層帯を抱えているため、今後起こりうる地震災害から人命や財産を守るには、海岸堤防の耐震強化が急務の課題となっている。海岸堤防の早急な耐震化整備予算の確保をお願いしたい。

スポット



氷川町総合型スポーツクラブ 「太極拳」クラブ

私たち太極拳クラブは、年齢、場所、経験などにこだわらず、「元気で長生き」を目標にクラブを設立して8年位になります。

はじめは、ゆっくりだから易しいんじゃないかと思ってこられた会員さんも、健康にいいことはわかっているけど、力は使わず、足裏からの反発で手や足を動かして、できるだけ自然に呼吸を合わせるといのはなかなかです。呼吸法や健身法を続けていくうちに膝や肩の痛みが少しずつ取れていくことを体感することができるのです。

また、気のおけない仲間とおしゃべりも楽しいことのひとつです。

緩やかな音楽に誘われ、心地よく全身を動かした後の爽快感は、心身共に癒される時間を共有することができます。あなたも一緒にやってみませんか。(見学自由)



- ・練習日 毎月第1・3・4週 火曜日
- ・時間 午前10時～11時半
- ・場所 氷川町公民館2F 研修室2
- ・指導者 2名
(日本太極拳連盟指導員資格有り)
- ・連絡先 氷川スポーツクラブ事務局
62-3198 担当 濱田



編集後記

議会だより26号から今回の32号の7号、約2年間にわたり、町民の皆さまにはご一読いただき誠にありがとうございました。

町議会広報調査特別委員会条例の規定による編集委員会任期2年間で、なんとか全うす

ることができました。

広報編集委員会では、積極的に議会開催の内容をお知らせすることが大きな役割であるとし、いま議会では何を議論しているのか、また議会は何をしているのかを、議会だよりでできる限りお伝えしようと心がけてまいりました。県町村議会議長会が開催する編集委員会研修に出席し、講師の先生からご指導を受けたり、県内の優秀自治体の議会だよりも参考にしながら編集面にいかそうと努めました。

しかしながら、努力不足の点も否めず、町民の皆さまに充分ご満足いただけるような出来具合ではなかったかと存じます。

現在の4人の議員メンバーでの編集は今号で終了となりますが、次からの議会だよりも引き続き、どうぞよろしく願いいたします。



発行責任者	上田 健一
委員長	西尾 正剛
副委員長	木下 厚
委員	片山 裕治
委員	清田 一敏

次号は令和元年11月発行予定